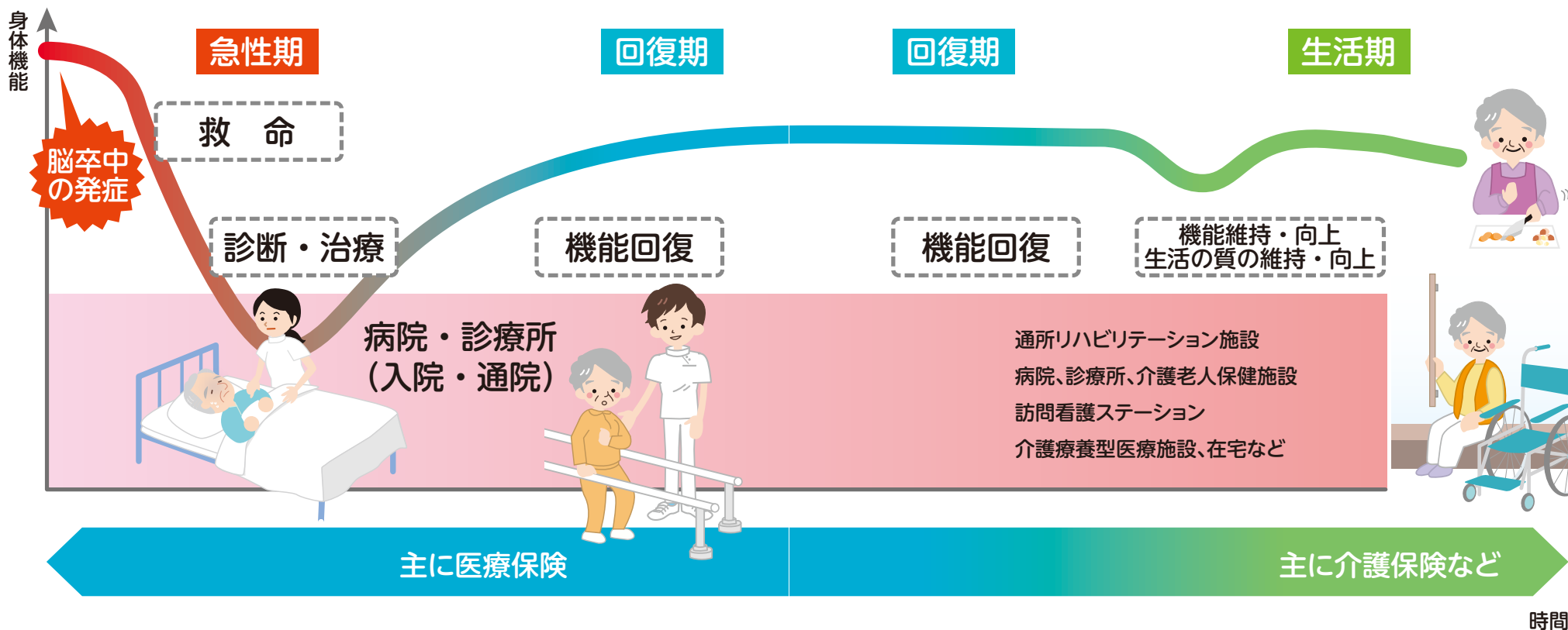


脳卒中理学療法の流れ

例：脳卒中を発症した場合



急性期：

早期の日常生活向上と社会復帰を図るために、身体への影響を十分に考慮しながら、できるだけ発症後早期から積極的に理学療法を行います。

回復期：

持っている力を最大限に引き出し、日常生活を行うための能力向上と社会復帰を図ります。

生活期：

自宅や施設などでその人らしい生活を実現するために、生活を営むための能力維持と向上、身体状態の悪化、再発予防に努めます。